

地形データ使い最優秀

県の「ドボックス」コン

広工大生ら防災に提案

広島工業大（広島市佐伯区）と同大大学院の有志計15人が、土木情報をまとめた県のサイト「Dobbox（ドボックス）」の有効な活用実例を募るコンテストで2024年度の最優秀に選ばれた。

実例は、ケーブルテレビ

（CATV）のちゅピCOM

M（中区）の依頼に応じ、

ドボックスの地形データを

使って新たに防災ライブカ

メラを置く候補地を選んだ

もの。過去に豪雨で被害を

受けている佐伯区下河内地

区と府中町、廿日市市宮島

町の3地区に計8カ所の設

置を提案した。受賞は、地

形データから根拠を明確に

示した実用性が高く評価さ

れた。ちゅピCOMは提案

をもとに設置を検討する。

環境学部3年落合七海さん

（22）は「住民に危険をい

ち早く察知してもらおうと

良い提案ができた」と話す。

（山田祐）



最優秀に選ばれた広島工業大生たち